

魔法少女VS 機械姦調教

YURI

DOJIN
R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止







近未来の日本東京
突如現れた怪人組織によって
街は未曾有の危機に陥っていた

特殊な能力を持つ怪人たちに
人々は成すすべなく
略奪破壊凌辱
その限りを尽くされていた

その危機的状况を打破すべく
政府の極秘特務機関が
開発育成した戦士たちがいる

各地から集められたその戦士たち
彼女らは皆うら若き乙女たち
「処女である事」が
戦士であるための絶対条件である

政府が開発した対怪人用スーツを身にまとい
彼女たちは
人々を守るべく勇敢に戦い
怪人たちを退けていく

彼女たちの華麗な技を目にした人々は
彼女たちを「魔法少女」を呼び称えた

日本のとある郊外

クリスタル・
ハリケーン！

ドバッ！

ドバッ！

ぎゃあ！

うおっ
！？

うぐぐ
……！！

あの女！
強い……！！

大体片付いたかしら？
それにしても大した事無い
連中だったわね…

カチン

そこまでだ!!

誰!?

クククク:
調子に乗るなよ
状況をよく見るがいい

魔法少女
ミント・ブロッサム

?!?

こいつを知っているな？
そうだお仲間の魔法少女だよ

お前が指一本でも
動かせば…この女は
処女を失う事になる

卑怯なっ!

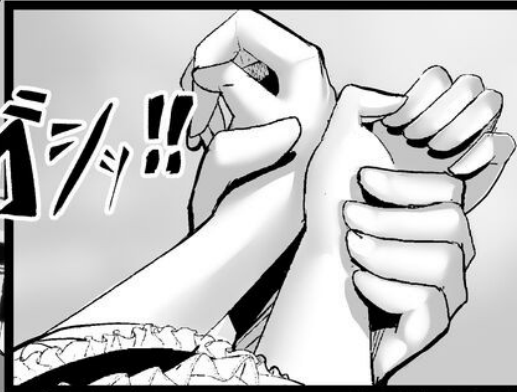
ご…ごめん…
なさい…
ミント・ブロッサム…



相変わらずフ
卑怯な連中ね
でも…
油断してる今なら…

フムフム

クリスタル…!



ガッ!!



この怪人…
早い!?!?



怪人様をなめてもらっては困る…
俺はなあ
勝つために人質を用意したんじゃない
お前らのその歪んだ表情を
見るために用意したんだよ

強気な女は好きだぜエ
堕とし甲斐がある…

油断している今なら
倒せると思ったか?
クッククッククック…
浅はかな女よ

ははなして!

クッ!
その汚い手で
触らないで!
このゲス男!

さあてと
言いつけを破ったおしおきを
してやらねえとなあ…
さっき言ったよなあ?
お前が動けばどうなるかを



おい戦闘員ども…！
その人質は用済みだ！
処女マ○コにパイプ突っ込んでやれ！
その後は好きにしろ！
壊れるまで犯していぞ…！

ヒヒッ！
了解ですぜ！親分！

喜べ女！
お前はこれから
俺たちの性奴隷だ！

男を知らねえその体
たつぷり
可愛がつてやるからよ！
まずはこのオモチャでお前の
初マ○コを
いただくとするか！

パイ

ハッ

パイパイ

…ダメ…！
その子に手を出さないで！
わわかつたわ！
もう逆らわない！
私を好きにすればいい！
だからその子は！

いいやああ！
ゆるるして！それだけは！
そんな太いの
絶対入らないつばあ！





ハアハア…
これで…満足？

まさか？…
まだまだこれからよ

クックク…
俺の唾液は媚薬のように
性欲を増進させ…
さらに
催眠効果も併せ持つ
ひと眠りした後
お前は…止まらない体の疼きに
悶えることになるだろう

こいつ…！
抵抗できないのをいい事に！
そんなところ…
誰にも触らせたこと
ないのに！

ネチネチネチネチ…
気持ち悪い触り方！吐き気がするわ！
…ダメ…こんな時こそ落ち着かないと…

下手に逆らえばあの子が危ない
こは…我慢して…反撃の…機会を…

…あれ？なに？
なんだかへん…
急に…眠く…

バタッ！！

眠ったか…
クククク…魔法少女とはいえ
所詮はマ○コに毛も生えねえガキ
あつけないもんだな

このままこの場で犯すのもアリだが
せつかくの上玉だ
俺のアジトでたつぷり開発して
専用の性奴隷にでもしてやるとするか

アジトへ運んでおけ！

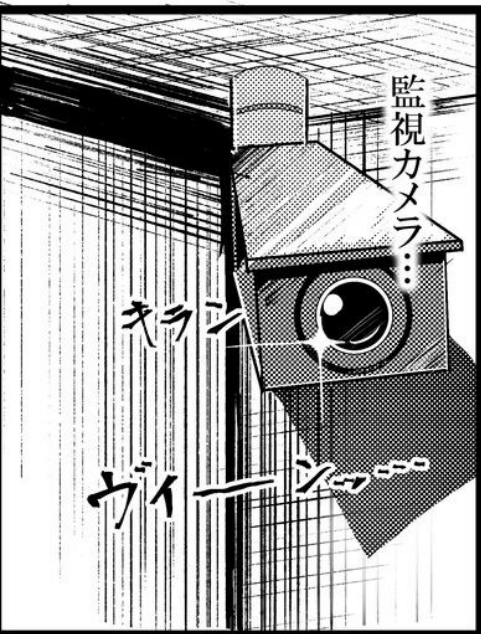
了解ですぜボス！
ところで…
この女はどうしやすか？

フツ…その人質は
もう用済みだと言ったろ？
お前らにくれてやる
好きに犯せ

ヒッヒッヒ！
さすがはボスだ！
一生ついていきますぜ！
おい！お許しが出た！
こいつやっちまおうぜ！

そそんな！イヤ
やめて！
イヤアーーーー！！

月ちゃんー



ここは...どう?
私は...そう...
たしか怪人と戦っていて
思い出した!

...クツ!人質を
取られていたとはいえ
怪人を前にして
意識を失うなんて...
不覚だわ!

あの怪人はどこへ?
それより...
あの子は無事なの?



怪人に捕まって
酷い目にあったという
先輩の話は
聞いたことあるけど
まさか私が...
いや...希望はまだある

変身が解けてないという事は
まだ魔法少女の力を
失ってはいない

従順になったふりでしてみる?
この拘束具さえ外せれば!...
でも...そんな事して...
万が一本当に挿れられたら...

クククク：
お目覚めのような魔法少女
ここは俺が作った特別な部屋でね
気に入った女しかこの部屋に入れない
光栄に思っんだな

何が光栄よ！ふざけないで！
この変態犯罪者！
あの子は
無事なんでしょうね！

おや？まだそんな
ナマイキな口が利けるとはな
この俺の体液の効果で
体中が火照って仕方がないだろう？

手足は固定されて
全然動けない！

犯されて力を失う前に
どうにか策を見出さないと！

は？何言ってるのあんた？
体が火照る？冗談言わないで
あんた童貞でしょ

女の子はねそんなので
簡単に気持ちよくなったりしないから

ましてや私は魔法少女
快楽で堕とそうとか思ってるなら
今すぐ諦めることね

クククク…いいぞ
だからこそ魔法少女は
面白い

なんせこの部屋は
お前のような
強情な魔法少女の
ために作った部屋なのだからな
さてどの刺激がお好みかな？

ガタマ！！

ギェル
ギェル

調教システム起動
淫剤の投与を開始シマス
対象者の感度レベル
10%上昇

クククク…ではこうしよう
この機械の責めに
いかずに堪えられたなら
お前を解放してやる

…言ったわね？
その言葉覚えてなさい
あとでとほけないでよね？
残念でした
私は不感症なの
イカせられるものなら
やってみなさい

クツ！なんなのこの機械 つくづく悪趣味
開放するなんて
怪人がそんな約束を守るとは思えないけど

でも…私が堪えている間は時間が稼げる！
性の快楽なんて
私にはそんなもの存在しない

こんな機械なんかで何をされようと
気持ち悪いだけ
何時間だつて堪えてみせる！

つて…え？なにこれ？
なにこの感じ…
え？…あ…あ…
こんなの…知らな…

ほう…不感症か
では淫剤を再投与
機械のレベルも
1ランクアップだ

マスターの指示を
確認シマシタ
淫剤を再投与シマス
振動レベルもアップシマス

……え？あいや
ちよ…ちよと待つ…

あれ？…え？…え？…え？…え？
な…なに？なにこれ？
頭が…チカチカ…して…
おっぱいと…アソコが…急に熱くなつて
嘘…嘘でしょう…なんなのこれ…

こんなの知らない…こんなの…あつ♡
あああああ——♡——♡——♡

対象者のオーガズムを確認シマシタ
愛液の分泌量急増
感度レベル80%上昇シマシタ

イシマアアア



あ…これヤバイ…かも…
アソコが…熱くて…
何も…考えられなく…

これがイクってことなの？
私…もういつちやったの？



調教第二フェーズへ移行シマス
衣服を排除シマス



そそんな…
頭が真っ白に…こんなの…
こんなの感じたことない…

おいおいどうした？
もういつたのか
不感症が聞いて呆れるな
淫乱の女だつて
もう少しは堪えてみせたぞ

本番はこれから
さてどこまで自我を
保つていられるかな？



乳首の刺激吸引を開始シマス
同時に乳首にも
多量の淫剤を投与
感度の開発を促進シマス



なっ！？
何をっ！？
イヤ！やめっ…

[illegible][illegible][illegible]

一度もいった経験のなかった私は
自分の体がどうなっているのか
まるで理解が追いつかなかった

ただでさえ頭がボーっとして
思考力が弱くなっているというのに

全身がおかしいくらいに熱く
まるでお漏らししたかのように
自分のアソコから
大量の愛液が流れ出ている

少し機械に触れただけで
私は自分でも聞いたことのないようなメスの声をあげた

こんなの…こんなおかしい…
こんなはずじゃ…

そしていった直後で敏感になっている
私のおっぱいに容赦なく
搾乳機のような機械があてがわれる

もはや私の思考は真つ白だった
電気が全身に走り、乳首からは母乳が溢れ出し

私はただただメスの声をあげることでしかできない…
私は…なんて無力なの…

一度もいった経験のなかった私は
自分の体がどうなっているのか
まるで理解が追いつかなかった

ただでさえ頭がボーっとして
思考力が弱くなっているとこのに

全身がおかしいくらいに熱く
まるでお漏らししたかのように
自分のアソコから
大量の愛液が流れ出ている

少し機械に触れただけで
私は自分でも聞いたことのないようなメスの声をあげた

こんなの…こんなおかしい…
こんなはずじゃ…

そしていった直後で敏感になっている
私のおっぱいに容赦なく
搾乳機のような機械があてがわれる

もはや私の思考は真つ白だった
電気が全身に走り、乳首からは母乳が溢れ出し

私はただただメスの声をあげることしかできない！
私は…なんて無力なの…

あーん！！ おっ！ めいめい！

一度もいった経験のなかった私は自分の体がどうなっているのかまるで理解が追いつかなかった

ただでさえ頭がボーっとして思考力が弱くなっているとこのに全身がおかしいくらいに熱くまるで漏らしたかのように自分のアソコから大量の愛液が流れ出ている

少し機械に触れただけで私は自分でも聞いたことのないようなメスの声をあげた

こんなの…こんなおかしい…
こんなはずじゃ…

そしていった直後で敏感になっている私のおっぱいに容赦なく搾乳機のような機械があてがわれる

もはや私の思考は真っ白だった
電気が全身に走り乳首からは母乳が溢れ出し

私はただただメスの声をあげることでしかできない！
私は…なんて無力なの…

あ、ん、ん、ん！！
グワッ
ズン
おっおっ
バァー

一度もいった経験のなかった私は
自分の体がどうなっているのか
まるで理解が追いつかなかった

ただでさえ頭がボーっとして
思考力が弱くなっているというのに

全身がおかしいくらいに熱く
まるでお漏らししたかのように
自分のアソコから
大量の愛液が流れ出ている

少し機械が触れただけで
私は自分でも聞いたことのないようなメスの声をあげた

こんなの…こんなのおかしい…
こんなはずじゃ…

そしていった直後で敏感になっている
私のおっぱいに容赦なく
搾乳機のような機械があてがわれる

もはや私の思考は真つ白だった
電気が全身に走り乳首からは母乳が溢れ出し

私はただただメスの声をあげることしかできない…
私は…なんて無力なの…

おっおっ
ハァ

[illegible]

性器ノ十分ナ濡リヲ確認…
超振動回転バイブ起動…
膣ヘノ挿入後、ピストン運動ヲ
開始シマス…

…え？嘘？
挿れちゃらめえつ！

あーっ♡このバイブすごく太いい♡
回転ぎもちいい♡その上奥まで届いて…
んああッ♡…しゅごくいいッ♡

クリも薬と催淫剤でどんどん
敏感になってるう♡その上バ
同時なんてえ……♡

こんなの……ヤバすぎる♡
んあぁッ♡……ダメ……
あぁっ♡もう何も考えらんない♡

んひいいいッ♡
は...はげし...いいッ♡
ま...まってえ♡こんなのすじ
イッつちやうう...ッ♡



んああッ♡
ま...まつて...!!
まだイッったばかり...♡

えっ...
今度はお尻い...!?

まだイッたばかりだからあああッ♡
ダメ...ダメエ...♡
またイグ...イグウ...♡

おほおほッ♡

ハッ!!

ハッ!!

ハッ!!

ハッ!!

全身性感帯に変えられて…一箇所だけでもイクの止まんない…♡それなのに…全部同時とか無理ッ…無りいいッ♡

こんなのダメ…ダメエ…♡
…頭おかしくなるうう♡
もうイキ過ぎて壊れちゃう…
もうイクのやだ…イキたくないッ♡

もうイクの嫌なのに…
何としても耐えないといけなの…

でも…おかしいな…
どうして腰が止まんないのおッ…♡
何でイグのとまんないのおおッ…♡

ハアハア……もう……
いろいろ考えるのも……疲れた……
でもこれだけは分かる……

すごく気持ちいいッ♡

はぁはぁ

ゴクッ

イェイ♡もも♡

ゴクッ
イェイ
イェイ

あああッ♡……くる……
くるうううッ……♡
すごい来ちゃうううッ♡

ゴクッ

ゴクッ

対象者が失神シマシタ
システムを一時停止シマス

あまりの刺激に
気を失ったか…
だが…まだまだ
休むのは早いぞ

強制覚醒を実行シマス

バチバチ

バリ

バリ

アッ/エッ

アッ
アッ
アッ

お
お
あ
あ
あ

お目覚めかな？

クククク：

呆れるほどに汁をたらし
腰をはげしく振りながらいき狂う姿
なかなかの見ものだったぞ

この俺の性奴隷として奉仕する
決心はついたか？

ハアハア…ハアハア…
体を…いくら汚されても…
心までは…絶対に売らない！
犯したければ犯せばいい！

ほう…驚いたな
限界を超えてあれだけイカされ続けても
まだ自我がはつきり残っているとは
面白い

調教システム
最終フェイズへ移行しろ

最終フェイズ実行シマス
感度上昇操作のリミッターを解除
クワエテ
オーガズム強制キャンセルモード
実行シマス

また機械が動き出したわ！
これ以上…今度は一体…
何がはじめるというの？

体をどれだけ汚されても…
私は魔法少女！
せめて心だけは…絶対に
屈するもんか！





切なさだけが積み重なって...

こんな事...続けられ...たら
あ頭...おかしく...なう...ちゃう...

イギヤアアツ!!

2時間後。。。イキたい…

イキたい…

イキたい…

イキたい

イキたい…

イキたい…

イキたい

イキたい…

イキたい…

イキたい!!

イキたい!!

イキたい…!!
イキたい!!

ああ…人質も…脱出も…
もう何もかもどうでもいい…
早くイキたい!!イキたい!!
イカせてくだしいい!!

ククク…あれだけ強情だったこの女も
どうやら後一押しの様だな…

ぐふふ…やっと従順で卑猥な良い
メス豚顔になってきたではないか
どうだ?とびきりエロく下品で無様
におねだりすれば…イカせてやってもよいが…
さて…どうする?

私はご主人様のペット!浅ましいメス豚れすううう!
この体も心も全部ご主人様に捧げますうううう!
便器にでもなんでも!喜んでなりますからああ!
肉棒も喜んで咥えますうううううう!
だからお願い!イカせて!イカせてエー…!!

クククク…堕ちたか
よしではご褒美だ
オーガズム強制キャンセルを解除しろ



皆さまごきげんよう
毎度おなじみ
名もなきストーリーテラーで
ございます

ああなんとという事でしよう！
けがれなき正義の心を持った
魔法少女
憎むべきは悪の怪人の卑怯さか

その魔の手にかかり
体はおろか心までも
一匹のメスへと
塗り変えられてしまった
彼女

←使い魔時の姿



わたくしも人の子
怒りを禁じ得ない
同時に
興奮も禁じ得ません

せめて彼女には
怪人の肉便器として
幸せな第二の人生を
送ってもらいたいものです
フフフフ...

さて本日はここまで
次回のヒロピンで
またあなたに
お会いできることを
心より祈っております



■お読みくださりありがとうございます■

「魔法少女VS機械姦調教」

サークル uniuni

pixiv <https://www.pixiv.net/users/17025504>

Twitter <https://twitter.com/uniuniunion>

著者 すけにゃん

pixiv <https://www.pixiv.net/users/821736>

Twitter https://twitter.com/suke3_pixiv

ストーリー原案・一部加筆 uni

初版発行 2022.4

■背景素材などお借りしました■

今村KSK 様

<http://imamurask.zombie.jp/>

HJ* 様

<https://www.pixiv.net/users/10669193>